

活動報告

団体名	一般社団法人 ZENKON-nex
活動名	要注意建物を対象とした一時的な利用のためのPPバンドによる応急補強活動
活動期間	2016年4月～2016年9月
活動の成果	<p>PPバンドによる応急補強を行った住民からは、「普段の生活から余震にビクビクすることが無くなり、精神的にすごく楽になった」との声を聞きました。こうした意見から二次災害の危険性の軽減を目的とした建築面からのアプローチが、被災者の心のケアにつながることで実感できました。こうしたスキームを構築できたことは、非常に大きな成果であると確信しています。今後、起こりうる災害に対しても、スムーズに実行へと移すことが可能となります。</p> <p>また、今回の活動を通じて、復興プロセスの多様性の一環として応急補強の重要性を再確認できました。現在の日本の災害時の復興プロセスには、災害→避難所→仮設住宅→常設住宅しかありません。そのため避難所から自宅に戻る際に、応急補強を施さず再定住された方は少なくありません。こうした方に対し、簡易式応急補強を復興プロセスに組み込んでいくことが、より早く、かつ大多数の方に安心した生活を取り戻すことにつながると考えています。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>皆様からの心暖かいご支援、有難うございました。</p> <p>当団体は皆様から支えられて活動を行うことが出来ました。</p> <p>今後とも宜しくお願い致します。</p>

(活動のようす)

